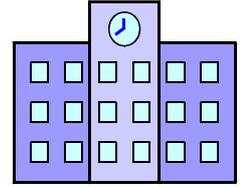


## 『学校力向上に関する総合実践事業』コーナー その6

今号では『近隣校と連携した若手教員の計画的育成』について紹介させていただきます。今年度から本校では《人材育成》の一環として、近隣の江差小学校や江差北小学校にも呼びかけ、初任者や20代の若手教員を対象に、月に1～2回程度の「放課後テーマ別研修」の時間を設定しています。



4月から夏休み前までに南が丘小学校（会議室・サブルーム）を会場に、若手教員10～12人が集まり、管理職や本校教員が講師となってテーマ別研修を進めてきています。夏休み前までに計6回を実施。年間を通じて計15回のテーマ別研修を予定しているところです。この研修を通じて、本校の若手教員はもちろん、町内の若手教員の授業力向上、生徒指導力向上につながってくればと考えています。**教員の授業力や生徒指導力の向上は、子どもたちの学力向上、望ましい学級経営につながります。**これまでのテーマ別研修の実施状況は下記の通りとなっています。

回	期 日	研 修 内 容	講 師
1	4月 4日	『伸びる教師としての心構え』 『学級経営 最初の3日間の指導』	藪 校長(南 小) 鈴木教諭(南 小)
2	4月30日	『伸びる教師としてのカスタム 1』 『伸びる教師としてのカスタム 2』	笠松教頭(南 小) 山本教諭(南 小)
3	5月20日	『学習指導の実際 1』	角田校長(江北小)
4	6月 7日	『学習指導の実際 2』	角田校長(江北小)
5	7月 5日	『公開授業』『算数の授業づくりについて』	澤口教諭(南 小)
6	7月22日	『道徳教育の実際 1』	角田校長(江北小)

なお、研修後には参加者にアンケートに答えてもらっています。それぞれの研修内容について4段階で評定してもらっていますが、ほとんどがA評価をもらっています。(総合評価：4点満点中3.85点)また、若手教員からはそれぞれの研修を通して、以下のような意見が出ました。

- ・学級担任として役立つ実践を教えていただき参考になりました。やる気が増しました。
- ・具体的な経験を交えて、分かりやすく話して下さったためになりました。
- ・「わかる授業を受ける権利がある」(子ども)  
「わかる授業をする責任がある」(教師)。その通りだなあと実感しました。
- ・とても充実した研修でした。授業を見るだけでは伝わらない授業者の信念や教育観を学ぶことができました。



今後も若手教員へのテーマ別研修は続いていきます。研修内容は「生徒指導の実際」「道徳の時間の模擬授業」...他にも本校の教員の公開授業の参観なども予定しています。参加者の声を生かして、年間を通じたテーマ別研修の充実を図っていきたいと考えています。